

文学部

■ 国語教育学科 教職課程受講条件

受講許可基準	第1セメスター	入学時に「国語教員養成コース」を選択し、かつ、入学後に受講申請書を期日までに提出していること(1)
	第2セメスター 終了時	累積GPA2.30以上であること
	第4セメスター 終了時	累積GPA2.50以上であること(2)
継続判定基準	第4セメスター 終了時 (3)	① 累積GPA2.50以上であること
	第6セメスター 終了時 (3)	① 累積GPA2.50以上であること ② 教育実習（事前指導）で「P評価」を得ていること ③ 「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目のうち、学科が指定する科目の単位を修得済みであること(4)

- (1) 「教職課程の受講登録・継続申請」については当該ページを参照のこと。第3セメスター以降に教職課程を受講する場合にも、受講登録の申請が必要である。
- (2) 第2セメスター終了時まで教職課程の受講や継続等に関する手続きを行いながら、第2セメスター終了時に受講許可基準を満たせなかった者は、指定の期日までに所定の手続きを行った場合に限り、第4セメスター終了時に再度受講判定を受けることができる。受講許可基準を満たした場合、第5セメスターより教職課程の受講が認められる。ただし、単位修得状況によって卒業時期が遅くなる場合もある。
- (3) 第4セメスター・第6セメスター終了時にこの基準を満たした者は、第7セメスター以降に教育実習を行うことができる。基準を満たせなかった場合は、「国語教員養成コース」を継続することは可能だが、教育実習を行うことができず、卒業時に教員免許状を取得することができない。
- (4) 学科が指定する科目については、ガイダンス等での指示に従うこと。
**「特別活動の理論と方法（中・高）」「教育実習」「教職実践演習」を除く
「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目を修得済みであること**

■ 英語教育学科 教職課程受講条件

受講許可基準	第1セメスター	入学時に「英語教員養成コース」を選択し、入学後に受講申請書を期日までに提出していること(1)
継続判定基準	第2セメスター 終了時 (2)(3)	① 「ELF102」までの単位を修得していること ② 累積GPAが2.00以上であること
	第6セメスター 終了時 (4)	① IELTS5.5以上、TOEIC® L&R700点以上、TOEFLiBT70以上、英検準1級以上のいずれかを取得していること。あるいは、累積GPAが2.40以上であること ② 「教育実習（事前指導）」で「P評価」を得ていること ③ 「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目のうち、学科が指定する科目の単位を修得済みであること(5)

- (1) 「教職課程の受講登録・継続」については当該ページを参照のこと。第3セメスター以降に教職課程の受講を開始することを希望する場合にも、受講登録の申請が必要である。
- (2) 第2セメスター終了時にELFコミュニケーションコースから英語教員養成コースにコース変更する場合、この継続判定基準を満たしていることが必要である。なお、コースを変更すると卒業要件が変わるので注意すること。
- (3) 第2セメスター終了時に継続判定基準を満たせなかった場合、指定の期日までに所定の書類を提出すれば、第4セメスターの終了時に再度受講判定を受けることができる。その際の基準は、第2セメスター終了時の継続判定基準と同一のものをを用いる。第4セメスター終了時に受講許可基準を満たした場合、第5セメスターより教職課程の受講ができる。ただし、卒業が1年以上延長される。
- (4) 第6セメスター終了時にこの継続判定基準を満たした者は、第7セメスター以降に教育実習を行うことができる。基準を満たせなかった場合は、教育実習を行うことができず、卒業時に教員免許状を取得することができない。
- (5) 学科が指定する科目については、ガイダンス等での指示に従うこと。

**「特別支援教育」「特別活動の理論と方法（中・高）」「教育実習」「教職実践演習」を除く
「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目を修得済みであること**